



特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ 2010年度社員総会

1. 2009年度事業報告	(採決事項①)	1
2. 2009年度決算報告	(採決事項②)	8
3. 2010年度事業計画(案)	(採決事項③)	13
4. 2010年度予算(案)	(採決事項④)	18

日時：2010年6月6日(日) 10時～

場所：浦和スポーツクラブ・クラブハウス

1. 2009 年度事業報告：採決事項①

月	会議・事業等	プログラム
4	27 理事会、テニス運営会議	28 ニュース vol. 99 発行
5	03 サッカー運営会議 17 理事会 22～23 全国クラブ会議	17 U15 HONDA CUP (1分2敗) 28 ニュース vol. 100 発行
6	07 理事会 14 2009 年次総会	28 ニュース vol. 101 発行
7	05 理事会 06 投力プロジェクト 検討委員会① 16 投力プロジェクト WG① 18 キッズテニス大会実行委員会①	～フィットネスプログラムの総入れ替え～ 28 ニュース vol. 102 発行
8	02 理事会 ～駒場体育館指定管理者に企画応募～ 26 投力プロジェクト WG②	02 第 14 回浦スポ塾 (浦高) 塩野副理事長/落雷対策ほか 20～21 工作教室 28 ニュース vol. 103 発行
9	13 理事会	13 U18 市民大会参加 (0-5 市立浦和高) 26 U15 クラブユース選手権 7-1 バルセイロ 0-8 コルージャ 28 ニュース vol. 104 (プレイバック 20 年開始)
10	17 ふあいぶるクラブフェスタに参加 18 キッズテニス大会実行委員会② 23 投力プロジェクト③ 25 キッズテニス大会審判講習会 31 第 3 回キッズテニス大会 in SAITAMA	10 第 15 回浦スポ塾 (浦高) 東方氏/総合型地域 SC について 28 ニュース vol. 105
11	01 理事会 03 キッズテニス大会反省会	28 ニュース vol. 106
12	～駒場体育館指定管理者に採択～ 06 親子キャッチボール (浦高) 13 副理事長会議 20 ふあいぶるクラブ運営協議会 27 理事会	10 第 16 回浦スポ塾 (カルタスホール) 加藤立教大学準教授/スポーツ障害 ● 全国キッズテニス大会に参加予定もインフルエンザで中止 28 ニュース vol. 107
1	10 理事会議 07 投力プロジェクト 検討委員会② 19 投力プロジェクト WG④	28 ニュース vol. 108
2	10 県子どもの体力向上フォーラム協力	キッズテニス交流大会 (熊谷) に参加 20 第 17 回浦スポ塾 (浦高) 松本平成国際大学教授/指導のあり方 28 ニュース vol. 109
3	07 理事会 13 投力プロジェクト 検討委員会② 真下投げ教室 (障害者交流センター)	・生涯、選手 2010 年度さいたま市民リーグ ・Gシニア 2010 年度北部リーグ 28 ニュース vol. 110
4	駒場体育館指定管理スタート	28 ニュース vol. 111
5	03 15 第 1 回理事会 29 第 2 回理事会	28 ニュース vol. 112

*各欄の左端の数値は 日付を表す

(総論)

09年度は、次のような特徴的なできごとがありました。

- 駒場体育館指定管理者に指名（埼玉シミズとJV）
- フィットネスプログラム及びインストラクターの総交替
- 文部科学省委託事業「H21 総合的な放課後対策推進のための調査研究事業」に採択
- 埼玉県委託事業で親子キャッチボール教室を開催
- さいたま市「スポーツもできる多目的広場管理運営に関する研究会」に委員派遣

□駒場体育館指定管理者に指名

駒場体育館の指定管理者に、埼玉シミズとJVを組み（㈱TFPも企画・運営に参画）応募し、指名を受けました。2010年4月～2014年3月までの4年間の指定期間において、クラブから体育館の有効活用に向けて様々な提案、企画、事業を実施していきたいと考えています。

□フィットネスプログラム及びインストラクターの総交替の決定

2004年の日体協総合型育成支援事業を機に始まった、クラブの3本柱の一つであるフィットネス（特にヨガエクササイズ）部門において、クラブの方向性とインストラクターの都合の関係から、2009年6月をもって現行プログラムを終了し、7月以後、新しいプログラム編成となりました。

7～8月の体験期間を経て9月から正式に再開しましたが会員が一時的に減少した影響を大きく受けました。

□文部科学省委託事業「H21 総合的な放課後対策推進のための調査研究事業」に採択

標記事業の企画提案を行い、採択されました。テーマは、埼玉県やさいたま市が特に劣っている「投げる力」をとりあげ、県、平成国際大学と協力し、ふあいぶるクラブ白鶴（岩槻区）、鴻巣プレス（鴻巣市）にも声をかけ、実行委員会を組織して事業を実施しました。

浦スポでは、サッカー広場と本太テニスの子どもたちを対象に行いました。

初めての試みでもあり、苦労も多くありましたが、スタッフや指導者にとって大きな経験となるとともに、地域の課題の解決に行政と協力して取り組む姿勢を示せたことは大きな成果であったと考えられます。

□埼玉県委託事業で親子キャッチボール教室を開催

埼玉県委託事業総合型地域スポーツクラブと連携した生涯スポーツ振興事業（トップ選手とふれあう子どもスポーツ体験事業）に応募し採択されました。埼玉西武ライオンズとの協力により、親子キャッチボール教室を開催しました。親子100組以上の応募があり、参加者にも大好評のイベントとなりました。きっかけづくりとしてのイベントの開催の意義や、親子のスポーツのあり方などを考える良いきっかけともなり、クラブにとっては貴重な経験を得られました。

新聞にも大きくとりあげられ、PRとしても役にたったと思われます。

□さいたま市「スポーツもできる多目的広場管理運営に関する研究会」に委員派遣

市の主催する標記研究会に委員派遣の要請があり、クラブから委員を派遣しています。このような会議への委員派遣をクラブが受けるようになったことは、地域スポーツクラブの社会的な役割の認知が広がってきたことと考えられ、行政との協働を進めるためにも、よい機会であると考えられます。

フィットネスインストラクターの方々の離脱は、会員の皆様に多大な迷惑をおかけするとともに、運営面でも大きな影響を受け、少なからず混乱を生じました。一方で、文部科学省や県の事業を実施することができ、金銭には変えられない貴重な経験をクラブが積むことができました。駒場体育館の指定管理を受けられることになったのも、地域のスポーツ環境の向上に取り組もうとするクラブの姿勢が認められてきたことだと思います。

今後も、地域の皆さまに広く支えていただけるクラブとなるように、より多くの方が参加できる場を、皆さんと一緒につくっていききたいと考えます。

(年度当初事業計画と成果)

09年度当初事業計画	成果
1. 20周年準備事業 ①記念事業の企画 ②ネクスト10の検討	△案は出ていますが、具体化していない △具体化はこれから
2. 既存活動の充実、発展を図る (1) 運営体制を充実させる ・クラブ理念の浸透 ・会員も参加できる運営会議の開催 ・専門部会の開催	△クラブニュース等で啓発を続けている △運営会議を開催し意見交換ができるよ になってきた △浦スポ塾にあわせて指導者が集まる機 会などをつくってき
(2) サッカー ・U18の会員増加とリーグ戦への参加 ・サッカーの運営面の強化を図ります	●U18は市民大会には参加したが、人数が 安定せず、リーグ参加できていない ●指導體制が整備できなかった
(2) テニス ・キッズテニスの会員増加をはかります ・キッズテニスのクラスを新設します ・インドアテニスの教室を増やし高学年対応を図る ・初心者テニスの会場の確保をはかる	●会員の増加がはかれず、会員が減少した クラスがある ●クラスは新設できなかった。 ○本太小でインドアを1クラス増加 △ある程度安定した開催が可能となった
(3) フィットネス ・新規予定プログラムの会員確保を図る ・シニア向けのプログラムの導入を進める ・のびのびスポーツ広場の会員増加を図るとともに、 高学年まで続ける会員を増やす	△ある程度の会員は確保できましたが、ま だ小人数のクラスも少なくない ●新たなシニアプログラムはつくれてい ない ○水曜日にのびのびスポーツ広場を新設 し、会員が増加
(4) その他 ・浦和スポーツ塾の定例化 ・卓球クラスの新設 ・専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+ αを加えていく	△4回開催。PRがあまりうまくできてい ない ●卓球クラスの新設はできず ○のびのびスポーツ広場の保護者向けの 活動が始まりました。
2. 地域のスポーツ振興に取り組む (1) キッズテニス大会 in SAITAMAの開催	○第3回キッズテニス大会を開催した
(2) 地域連携事業 ・地域との連携強化をはかり、高齢者や子供向けの プログラムの充実をはかる ・星空スポーツ広場で各種プログラムを展開する ・星空の会費制を検討し実施する	○夏休み工作教室を開催 ○ふらっと広場を継続開催 △星空スポーツで200円の参加費を徴収 ●シニア向けなどは増加できず。
(3) 文部科学省委託事業の実施	○投カプロジェクトを実施した ○あわせて親子キャッチボール教室も開 催できた。
(4) 駒場体育館指定管理(昨年度総会時には計画に なかった)	○JVで応募し、採択された。

【サッカー】

(サッカー／普及：広場)

- ✓ 投カプロジェクトを実施し、成果をあげた
- ✓ 09年度も大塚製薬さんの協力により、水分補給講習会を実施した
- ✓ 高学年の人数増加と木曜日の人数増加が課題として残っている

(サッカー／育成)

- ✓ スクール(小5・小6)の人数が増え、安定して開催できるようになった
- ✓ U15は大会参加をするものの、人数は不安定で、ギリギリの状況である
- ✓ U18は市民大会に参加するも、練習の人数は増えず、リーグ戦参加のめどが立たず
- ✓ 選手コースは練習参加人数が少なく、単独で練習が行えていない。2部昇格ができなかった

(サッカー／振興(生涯スポーツ))

- ✓ 生涯コースは、じょじょにはあるが新加入が増えたが、一方で昔からの会員の退会もあった
- ✓ スーパーシニアは出席率が高く、熱心な活動が展開されている

【テニス】

(テニス／キッズ)

- ✓ キッズテニス大会の第3回を開催した
- ✓ 高学年の子どもたちの扱いが大きな課題となった

(テニス／一般)

- ✓ コートの確保があるていど、安定してきた

【フィットネス】

(スタジオプログラム)

- ✓ インストラクターの交替、プログラムの入れ替えにより200名近い会員減となった
- ✓ 経験の浅いインストラクターも多かったことから、会員の新たな確保が進んでいない。

(体操広場・スポーツ探検広場)

- ✓ 水曜日に幼稚園生向けのクラスを新設した。
- ✓ 小6のスポーツ探検隊が卒業し、高学年への対応が課題となった。

(太極拳)

- ✓ 徐々に会員の増加と安定化がはかられてきた。

(バレエ)

- ✓ ほぼ安定した運営がおこなえている。

【その他】

（魅力アップ事業）

- ✓ 夏休み工作教室などを実施し、子供たちには好評であった

（浦和スポーツ塾）

- ✓ 第14回～第17回を開催した

（地域交流・拠点確保）

- ✓ 星空スポーツ広場は安定的に開催できている
- ✓ 卓球やバドミントンでは、中学校の部活の子どもたちが指導を受けにきている

（県との協働）

- ✓ 心あいづるクラブ運営協議会に参加した
- ✓ 埼玉県地域スポーツクラブフェスタに協力し、テニスプログラムと卓球教室を担当した
- ✓ 総合型地域スポーツクラブを活用した生涯スポーツ振興事業で行った「親子キャッチボール」は大変な好評を博した

（市との協働）

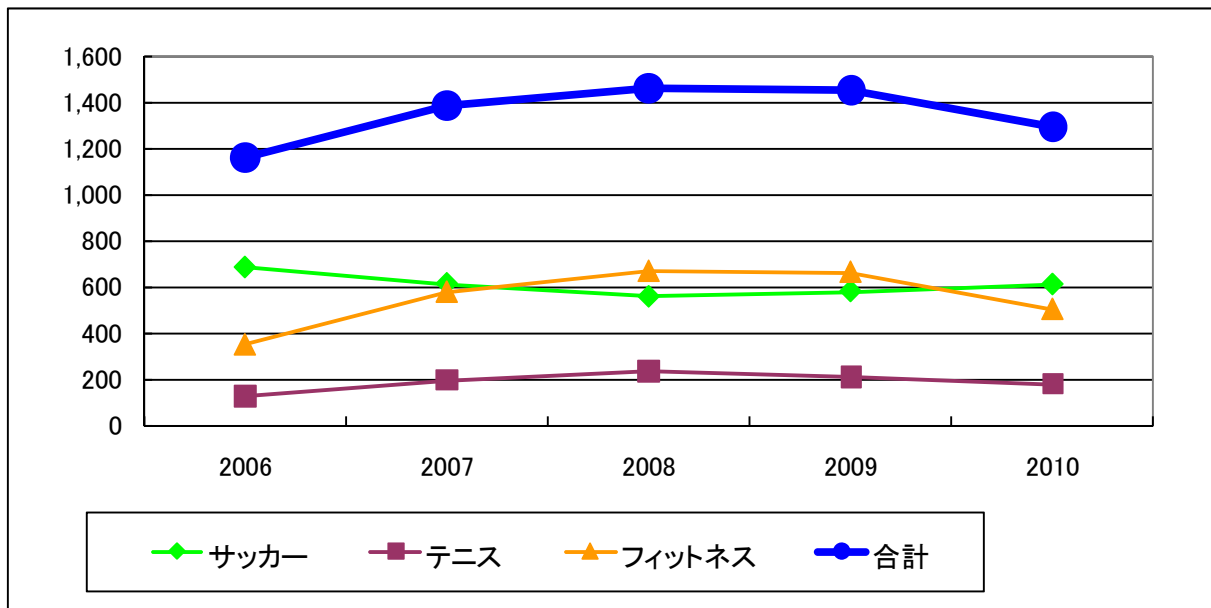
- ✓ さいたま市総合型地域スポーツクラブ推進委員会に委員として参加した
- ✓ スポーツもできる多目的広場管理運営に関する研究会に委員派遣

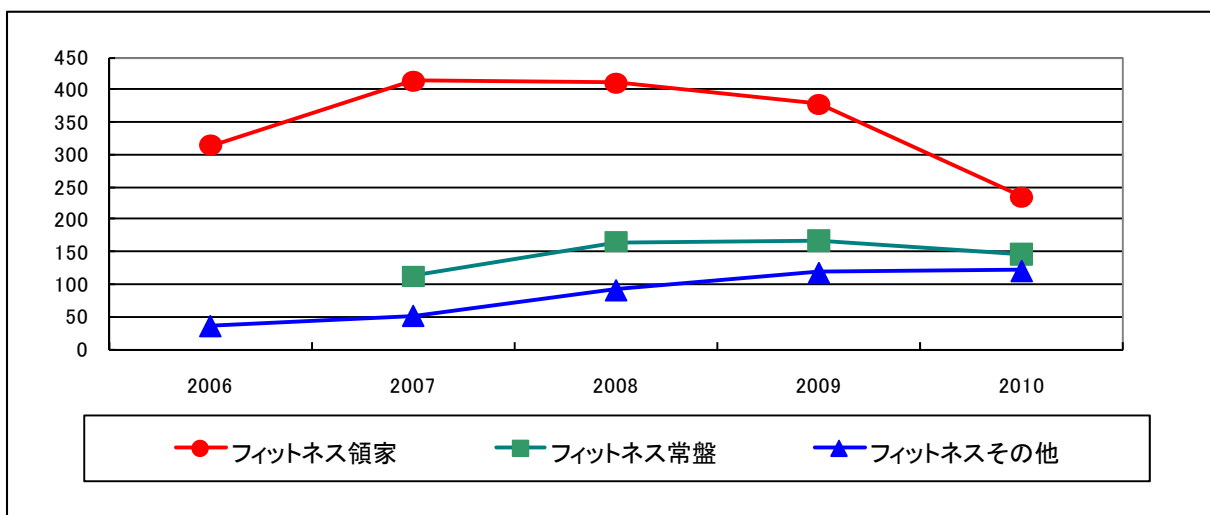
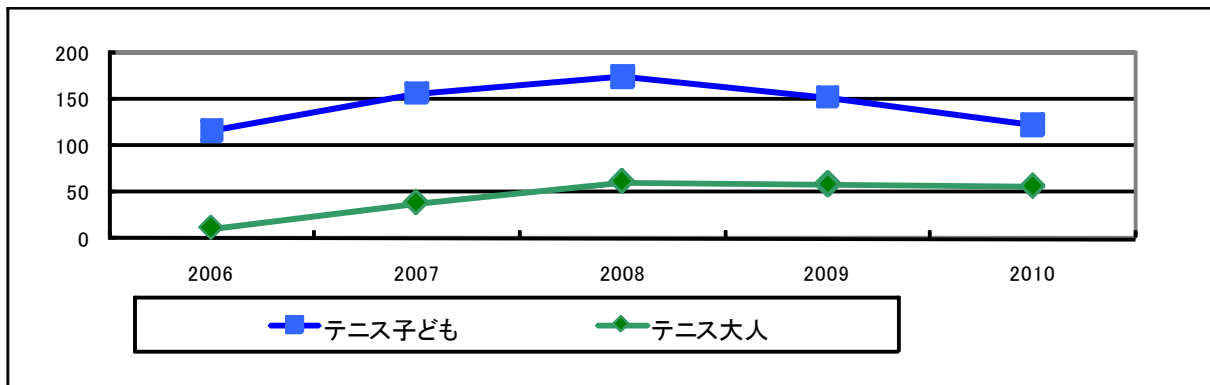
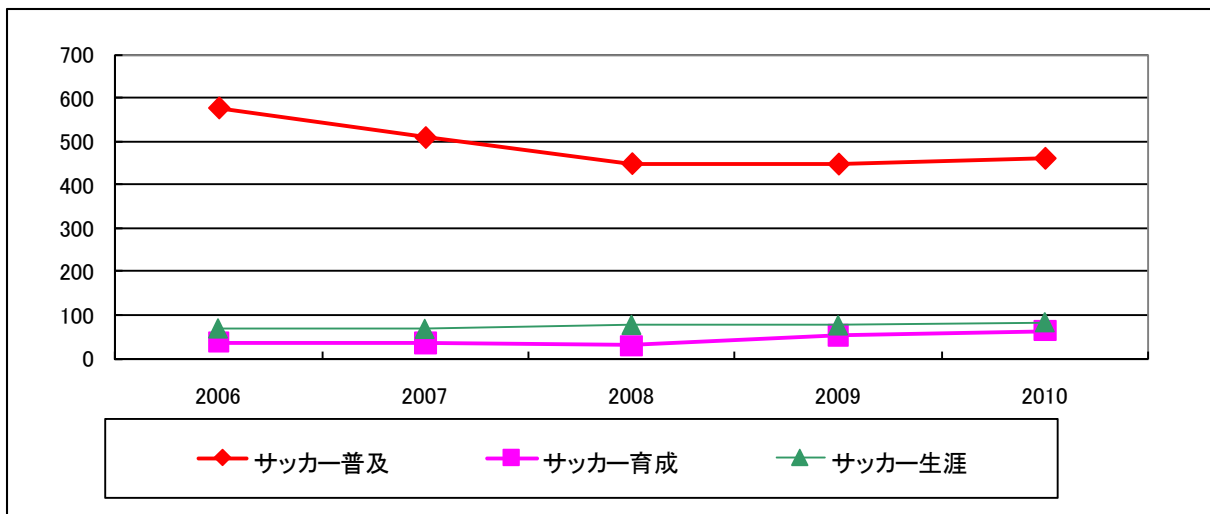
（その他）

- ✓ ニュースが110号に到達した
- ✓ 20周年にむけてプレイバックの特集を組んだ

参考/2006年～2010年のクラブ会員数（各年5月末）

	2006	2007	2008	2009	2010
サッカー普及	575	508	449	448	461
サッカー育成	37	35	29	54	64
サッカー生涯	70	69	78	77	84
テニス子ども	116	157	175	153	123
テニス大人	11	38	61	58	56
フィットネス領家	314	413	410	377	234
フィットネス常盤		112	165	167	147
フィットネスその他	35	51	91	118	121
サッカー	682	612	556	579	609
テニス	127	195	236	211	179
フィットネス	349	576	666	662	502
合計	1,158	1,383	1,458	1,452	1,290



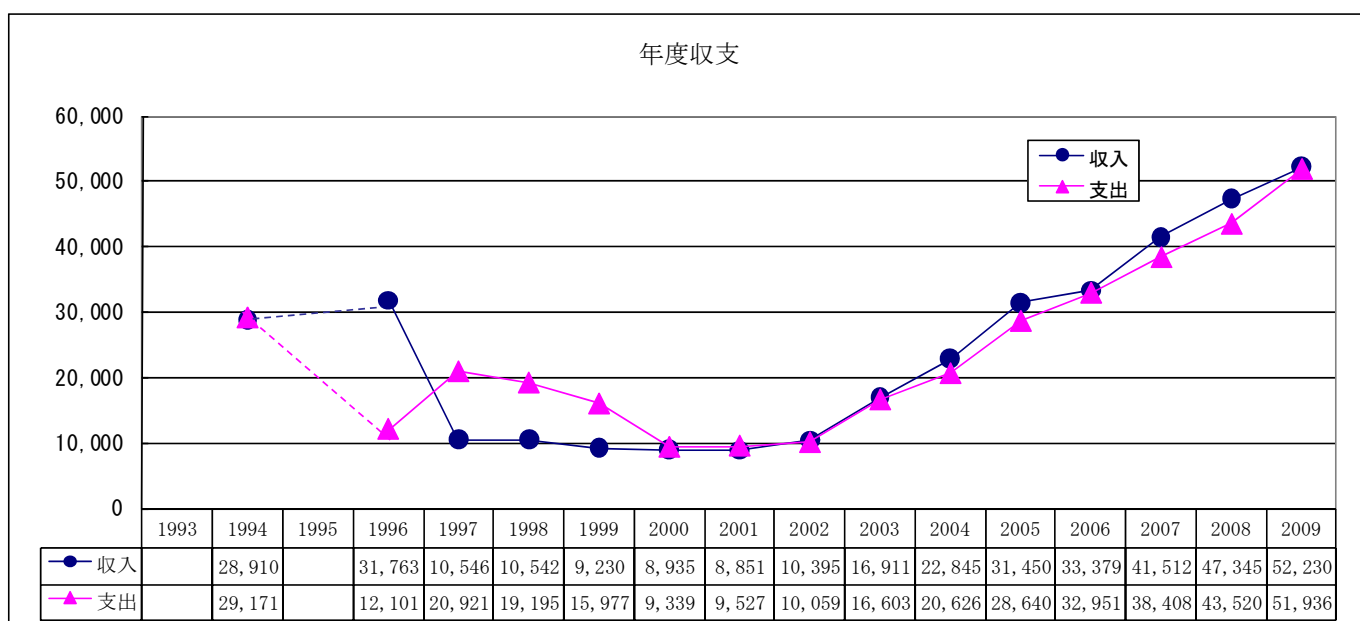


2. 2009 年度決算報告（2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日）：採決事項②

- 収入総額は約 5,223 万円となり、昨年よりも 500 万ほど増加しました。
- 大幅増は、文部科学省の委託事業（約 720 万）を受けたことによるもので、会費収入は、150 万ほど下回り、フィットネスプログラムの会員の減少が大きく影響しました。
- 経常支出は約 5,193 万円で、予算よりも 590 万ほど多くなりましたが、これは委託事業の支出分が加わったためです。
- 単年度の収支では 30 万円ほど黒字となりました。予算では 90 万の赤字を覚悟していたことから、赤字を回避することができました。
- トトの助成金（H21 年は 720 万）は、年々減額され（H22 年は 640 万）、あと 3 年でなくなります。H22 年度は、会費収入の割合は 7 割であり、以前に比べて低下しています。交付を受けられる間に、各部門の黒字化を会費収入を柱とした安定財源により確立することが必要なことがわかります。

（年度収支と過年度との比較）

年度	2009 年度		過年度				
	予算	決算	2008	2007	2006	2005	2004
収入	45,156,000	52,230,623	47,344,612	41,511,461	33,378,885	31,661,580	23,206,369
支出	46,071,120	51,936,213	43,520,329	38,408,490	32,950,819	28,712,254	19,990,075
収支	-915,120	294,410	3,824,283	3,102,971	428,066	2,949,326	3,216,294
繰越	6,224,436	7,464,071	7,169,661	3,345,378	242,047	7,274,367	5,321,696

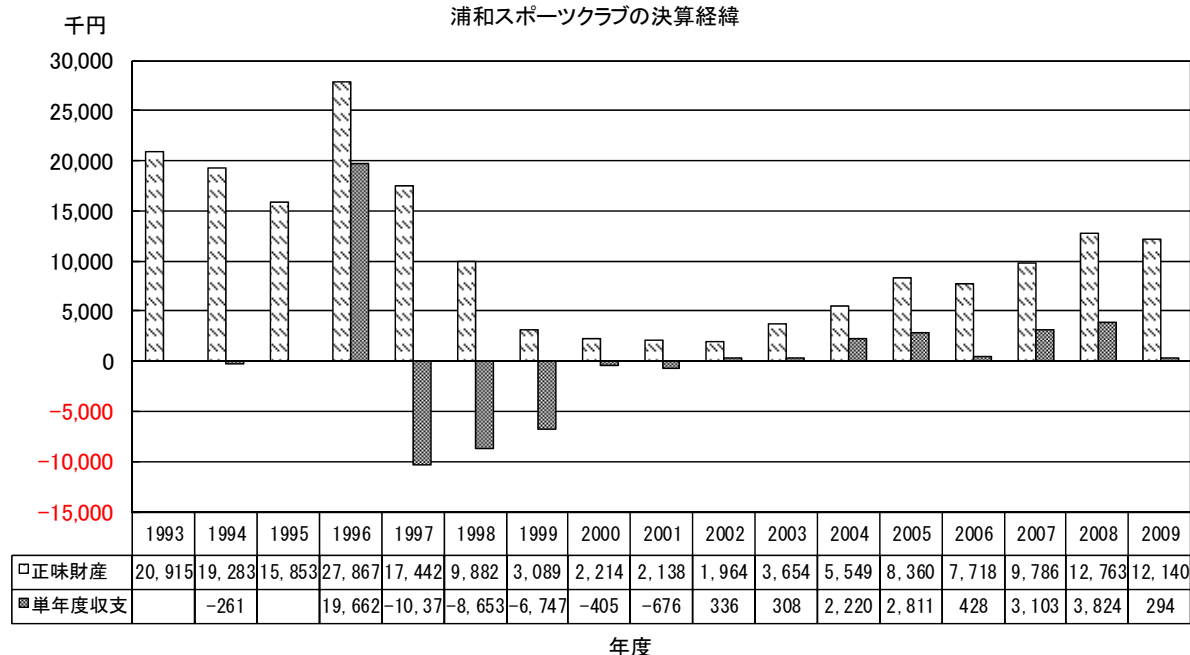


■ 年度収支の経年変化（単位：千円） ■

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

NPO法人浦和スポーツクラブ 全事業所		(単位：円) 2010年 3月31日 現在	
資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		前受金	1,574,880
現金	350,341	未払金	2,629,955
普通預金	10,595,218	預り金	20,563
埼玉りそな	(814,285)	雇用保険	(20,563)
郵貯ばるる	(2,163,331)	仮受金	128,000
郵貯振替口座	(5,082,720)	流動負債計	4,353,398
城北信用金庫1	(1,331,076)	負債の部合計	4,353,398
城北信用金庫2	(1,202,880)	正味財産の部	
武蔵野銀行	(926)	【正味財産】	
現金・預金計	10,945,559	正味財産	12,140,232
(売上債権)		(うち当期正味財産増加額)	△ 623,720
未収会費	333,100	正味財産計	12,140,232
売上債権計	333,100	正味財産の部合計	12,140,232
(その他流動資産)			
前払費用	529,120		
その他流動資産計	529,120		
流動資産合計	11,807,779		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
構築物	3,057,174		
車両運搬具	190,900		
什器備品	701,337		
有形固定資産計	3,949,411		
(無形固定資産)			
電話加入権	76,440		
無形固定資産計	76,440		
(投資その他の資産)			
保証金	10,000		
敷金	650,000		
投資その他の資産計	660,000		
固定資産合計	4,685,851		
資産の部合計	16,493,630	負債・正味財産の部合計	16,493,630

浦和スポーツクラブの決算経緯



特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

NPO法人浦和スポーツクラブ		(単位：円)
全事業所	自 2009年 4月 1日 至 2010年 3月31日	
《経常収支の部》		
[経常収支の部]		
【経常収入】		
事業収入	36,663,025	
助成金収入	7,650,000	
入会金収入	6,000	
正会員会費収入	220,000	
賛助会員会費収入	200,000	
寄付金収入	121	
委託事業収入	7,384,340	
その他事業収入	98,000	
受取利息収入	1,947	
経常収入 計		52,223,433
【事業費】		
諸謝金	28,672,200	
用具費	3,268,712	
会場費	2,697,720	
登録費	421,962	
保険料(事)	521,678	
外注費	450,000	
雑費(事)	1,010,103	
当期事業費 計	37,042,375	
合計	37,042,375	
事業費 計		37,042,375
【管理費】		
給料手当	4,897,500	
事務人件費	2,455,770	
法定福利費	659,686	
通信・運搬費	1,409,557	
水道光熱費	389,180	
広告宣伝費	15,000	
会議費	132,369	
事務用消耗品費	315,153	
備品消耗品費	500,530	
印刷経費	288,122	
修繕費	66,150	
賃借料	1,807,724	
車両燃料費	176,112	
保険料(管)	719,707	
租税公課	20,000	
諸会費	18,000	
リース料	403,851	
支払手数料	453,961	
雑費(管)	157,966	
管理費 計		14,886,338
経常収支差額		294,720
[その他資金収支の部]		
【その他資金収入】		

特定非営利活動に係る事業会計財産目録


NPO法人浦和スポーツクラブ		(単位：円)
全事業所		2010年 3月31日 現在
《資産の部》		
【流動資産】		
(現金・預金)		
現金	350,341	
普通預金	10,595,218	
埼玉りそな	(814,285)	
郵貯ぱるる	(2,163,331)	
郵貯振替口座	(5,082,720)	
城北信用金庫1	(1,331,076)	
城北信用金庫2	(1,202,880)	
武蔵野銀行	(926)	
現金・預金 計	10,945,559	
(売上債権)		
未収会費	333,100	
売上債権 計	333,100	
(その他流動資産)		
前払費用	529,120	
その他流動資産 計	529,120	
流動資産合計		11,807,779
【固定資産】		
(有形固定資産)		
構築物	3,057,174	
車両運搬具	190,900	
什器備品	701,337	
有形固定資産 計	3,949,411	
(無形固定資産)		
電話加入権	76,440	
無形固定資産 計	76,440	
(投資その他の資産)		
保証金	10,000	
敷金	650,000	
投資その他の資産 計	660,000	
固定資産合計		4,685,851
資産の部 合計		16,493,630
《負債の部》		
【流動負債】		
前受金	1,574,880	
未払金	2,629,955	
預り金	20,563	
雇用保険	(20,563)	
仮受金	128,000	
流動負債 計		4,353,398
負債の部 合計		4,353,398
正味財産		12,140,232

監査報告書

平成22年6月3日

特定非営利活動法人 浦和スポーツクラブ

理事長 戸 苺 晴 彦 殿

監 事 三 戸 一 嘉 

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの2009年度の理事の業務執行状況、及び事業報告書、貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、並びに財産目録（以下、事業報告書等）について、監査を実施した。

監査の結果の意見は次のとおりである。

- (1) 理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められなかった。
- (2) 上記の事業報告書等が、特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成22年3月31日現在の財産状況、及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

以 上

3. 2010年度事業計画（案）：採決事項③

クラブは今年度で20周年をむかえます。発足時に設立趣旨に掲げたことは、学校部活動の単位年度での勝利至上主義などの解決をはかり、スポーツ障害の防止をはかりつつ心身の発達に応じた少年から成人にいたるまでの一貫指導と、中高年にいたるまでスポーツを楽しむことができる地域密着型のスポーツクラブでした。

20年経ったいま、私たちのスポーツ環境は、どのように変化したでしょうか。現在、国では新たなスポーツ振興基本計画の策定が進められています。企業スポーツや学校スポーツの衰退が指摘され、地域スポーツへの認識が高まり、計画の中でもその比重が高くなることが予想されます。

私たちは、自分たちがスポーツを楽しく続けたい、健康に暮らし続けたい、そのためには、自分たちだけでなく、多くの仲間がスポーツを続けられる、健康に過ごしていける社会をつくっていくことが必要と考えて活動してきました。

浦和スポーツクラブは、学校や企業といった均質の集団ではなく、さまざまな年代、さまざまな立場、さまざまな体力や技量の会員と一緒に活動していく、まさに「地域社会」そのものです。地域コミュニティの衰退が指摘される中、スポーツや健康づくりをとおして、さまざまな人たちが交流していくことは、新しいコミュニティの形成に貢献するものであり、新しいスポーツ団体のありかたです。

クラブができて20年、まだまだ私たちの想いが十分に実現してきたわけではありません。これからも、自分たちがスポーツを続け、より多くの仲間がスポーツを好きに、元気で健康に暮らす社会を目指して活動していきます。そのために、今年度は、次のような事業を実施していきます。

(1) 20周年記念事業

①20周年記念事業の実施

- 1) 記念イベント（記念講演会）と祝賀会 10月上旬を予定
- 2) 記念誌の作成
- 3) 交流大会の開催（クラブ会員の懇親を深める）
- 4) その他

②クラブネクスト10の策定

- 1) ビジョン
- 2) 会員・会費制度について
- 3) 施設（グラウンド・コート）確保について
- 4) 指導者の育成、確保について

(2) 既存活動の充実・発展を図る

①運営体制を充実させる

1) 会員も参加できる運営会議の開催

各プログラムにおいて会員と指導者やクラブとの情報の交流頻度を高め、会員の声が生かされていくようにするために運営会議を開催します。

2) 専門部会の開催

□指導者部会：指導者同士が顔の見える関係をつくります。

□地域部会：地域と連携した事業展開を図ります。

②サッカー

- 広場の会員増加とプログラムの充実をはかります
- スクールを増設します（北小 火曜日）
- U15、U18ともに会員増加をはかり、来年度には、一年をとおしてリーグ戦に参加できるようにします。
- 選手は、市民リーグ2部に昇格を目指します
- 生涯クラスは、今年度中に50人まで仲間を増やします
- スーパーシニアは、いつまでも元気にサッカーを続けます

③テニス

- キッズテニスの会員増加をはかります。
- キッズテニスのクラスを新設します（三室小で6月から体験）
- 初心者テニスや、ジュニアテニス会場の安定確保を図り、キッズからシニアまでの活動の場づくりを目指します。
- 市民大会に、浦和スポーツクラブとして参加します。

④フィットネス

- 会員の増加、確保を図ります。
- シニア向け筋力トレーニングのプログラム化をはかります。
- のびのびスポーツ広場の会員増加をはかるとともに、高学年の充実も図ります。

⑤その他

- シニア向け、子ども向けのプログラムの充実を図ります。
- 卓球のクラスの新設を進めます（星空スポーツ広場からの一部定例化）
- 浦和スポーツ塾を定期開催します
- 様々な専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを付け加えていきます。

(3) 地域のスポーツ振興に取り組む

①「第4回 キッズテニス大会 inSAITAMA」の開催

第4回キッズテニス大会 inSAITAMA の実行委員会の主管を努めます。

実施に際しては、大人のテニス会員や、キッズテニス会員の保護者の皆様にもご支援いただきたいと考えています。

期日：2010年10月16日（土）

場所：さいたま市立浦和駒場体育館

主催：キッズテニス大会 inSAITAMA実行委員会

構成団体（予定） NPO法人浦和スポーツクラブ、鴻巣プレス

NPO法人あさひスポーツ・文化クラブ 他

②地域との連携強化を図り、高齢者や子供向けのプログラムの充実を図る

- 1) 駒場体育館の指定管理を活用し、各種プログラムを提案、企画、実施していきます
- 2) 星空スポーツの充実を継続して開催するとともに、参加者のクラブへの理解を進める

○スポーツプログラム (2010.4～)

部門	コース	概要
サッカー	広場	幼稚園生～小学6年生を対象に、サッカーで遊ぼうを合い言葉に、週1回1時間、ミニゲームを中心に活動。約500名が参加。
	スクール	小学校5年生を対象として、個人技術の習得を目的としたスクール。水曜日午後7時～8時頃。火曜日午後6時～
	ユース	中学生 (U-15) : 個々の育成を図ることを目的とした活動。
		高校生 (U-18) を再開。当面、水・土・日で活動
	選手	さいたま市浦和リーグ3部から再出発。 18歳以上の学生と社会人、約20名が参加。
	生涯	生涯スポーツとして楽しみながらサッカーを続けることを目的に活動。選手を目指さずに続けたい中学生や高校生も参加可。
スーパーシニア 広場	60歳以上を対象。 木曜日サッカー広場の前の時間(13時～15時頃)に実施。	
テニス	キッズテニス	幼稚園年長～小学校中学年までを対象に、体育館で行うスポンジボールのテニス。3箇所で開催中。約120名が参加。
	インドアテニス	小学校高学年を対象として、キッズよりやや固めのボールで実施。本太小と中尾小の体育館でそれぞれ開催。約40名が参加。
	ジュニアテニス	小学校3年生以上を対象とした、屋外での本格的なテニス。平日夜のナイター練習。主に天沼テニスコート。
	(一般)	ジュニアテニスの送迎でこられる保護者の方々を対象に、一般向けのクラスを開催。
	初級	初級者を対象に、初歩から丁寧に教える。市内各地のコート。
	中級	中級者を対象に、市内各地のコートで開催。
フィットネス	スタジオ プログラム	別表
	のびのびスポーツ 広場	様々なスポーツをとおして、総合的に運動能力を高める。 ■ 年中・年長クラス ■ 小学校低学年クラス ■ 小学校高学年クラス
	太極拳	主に高齢者を対象としたプログラム。楊明時太極拳。
	バレエ	和泉伽甫留バレエ教室との共同開催。幼稚園～小学生。
地域	星空スポーツ広場	浦和高校グラウンド及び体育館をお借りして、広く参加できる場として運営。サッカー、ミニテニス(テニス)、バトミントン、卓球。
地域貢献	浦和スポーツ塾	各界のスペシャリストをお呼びし、会員、保護者、地域住民などに広く開いた講演会を実施。
	チャリティ	開発途上国へのスポーツ用品(中古)の提供などを実施。これまで、ケニア、アフガニスタン等に寄贈。 中古テニスボールの回収と学校への寄贈
	学び・遊び	工作教室や折り紙教室など、様々なプログラムを、地域のボランティアの皆さんとともに提供していきます。
	ふらっと広場	常盤スタジオの午後の時間を地域に開放(主に子ども達)
クラブライフ魅力アップ事業		クラブ会員が楽しみながら交流できる各種イベントや、各プログラムに+αを提供。

2010年のスタジオプログラム

10.05.01改訂										
	領家					常盤				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
9:10	金木		伴	湯浅	宮本	岡田	長谷川	休館日	土屋	岡田
§	アロマ YOGA		パワー-YOGA	ピラティス	フィットネス YOGA	ピラティス	フィットネス YOGA		フィットネス YOGA	ピラティス
10:00										
10:20	金木	清水	伴		宮本	岡田	木暮		土屋	斉藤
§	アロマ YOGA	インド式 ヨーガ	フィットネスフラ		ベーシック YOGA	フィットネス YOGA	親子 エクササイズ		ベーシック YOGA	ゆっくり YOGA
11:10										
11:30	篠原		金木	長谷川	土屋				金木	斉藤
§	エンジョイ エアロ		アロマ YOGA	ピラティス	ピラティス (託児あり)				アロマ YOGA	ボール DE エクササイズ
12:20										
13:30	篠原		金木		土屋	一般開放	一般開放		一般開放	一般開放
§	シニアボディ コンディショニ ング		シニア YOGA		シニア YOGA					
14:20										
15:30					大川					
§					バレエ 幼児					
16:20										
16:30		泉・和泉			大川					
§		バレエ ジュニアI			バレエ ジュニアI					
17:40										
17:45		泉・和泉			大川					
§		バレエ			バレエ					

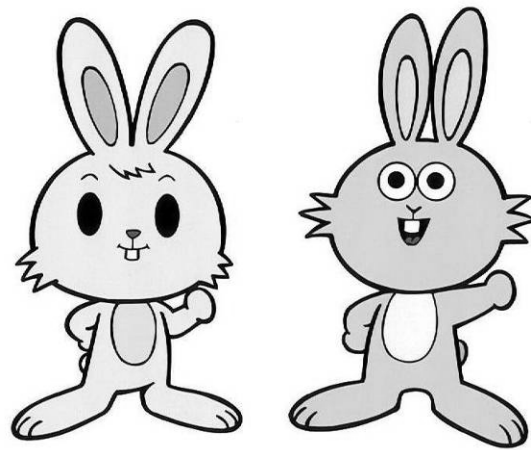
2010年度スポーツプログラムと会費（予定）（定期プログラムのみ）

プログラム	対象	曜日	時間	月会費	活動場所他	
サッカー	月曜広場	年中・年長	15時～16時	2,000円	駒場サブグラウンド ネーム入りシャツ代を会費に含む	
		小1・小2	16時～17時			
		小3・小4	17時～18時			
		小5・6・女子	18時～19時			
	木曜広場	年中・年長	木	15時～16時	2,000円	
		小1・小2		16時～17時		
	スクール	小5・小6	火	18時～19時	2,000円	北浦和小
			水	19時～20時	2,000円	県立浦和高校
	ユース	中学生 (U15)	水金土日	2時間程度	5,000円	北小・浦高・常盤北他
		高校生 (U18)	水土日	〃	〃	浦和高校他
選手	一般	水土日	〃	5,000円	浦和高校他	
生涯	全ての年代	土・日	〃	5,000円	市民リーグ他	
スーパーシニア	60歳以上	木	13時～14時半	2,000円	駒場サブグラウンド	
テニス	駒場キッズ	小1・2	水	17時～18時	2,500円	駒場体育館
		小3・小4		18時～19時		
	駒場キッズ	年中・年長	木	15時～16時	2,500円	駒場体育館 年中は10月から
		小1・小2		16時～17時		
	北小キッズ	小1・小2	火	18時～19時	2,500円	北浦和小体育館
		小3・小4		19時～20時		
	中尾キッズ	小1～3	火	17時～18時	2,500円	中尾小体育館
	中尾インドア	小4以上	火	18時～19時		
	三室キッズ	小1・小2	火	17時～18時	2,500円	三室小体育館
		小3・小4		18時～19時		
	本太インドア	小3・小4	木	17時半～19時	3,500円	本太小体育館
		小5・小6		19時～20時半		
硬式(ジュニア)	原則小3以上	(火)・水	17時半～19時	4,000円	天沼コート	
天沼ナイター	硬式キッズ・保護者		〃	親子6,000円		
初級者	成人男女	水・木・金	9時半～11時	3,000円	市営コート他	
中級者	成人男女	火・金	13時～15時	4,000円	市営コート他	
スタジオプログラム 各種	成人	月～金	別表参照	2,000円	領家スタジオ ふらっと常盤	
のびのび スポーツ広場	年中・年長	水	15時半～16時半	2,000円	駒場体育館	
	年中・年長	金	15時～16時			
	小1～3		16時～17時			
	小3～小6		17時～18時			
太極拳	全ての年代	土	15時～16時	1,500円	南箇公民館他	
バレエ	幼稚園	火・金	15:20～16:10	4,000円	領家スタジオ	
	小学生	金	16:30～17:20			

4. 2010年度予算（案）（2010年4月1日～2011年3月31日）：採決事項④

科 目	金 額	
I 収入の部		
1 会費、入会金収入		
正会員会費収入	¥ 350,000	
" 入会金収入	¥ 10,000	
賛助会員（個人）	¥ 10,000	
賛助会費（法人）	¥ 100,000	¥ 470,000
2 事業収入		
サッカー事業	¥ 16,326,000	
フィットネス事業	¥ 12,936,000	
テニス事業	¥ 6,231,000	
地域事業	¥ 360,000	¥ 35,853,000
3 補助金等収入	¥ 6,400,000	¥ 6,400,000
4 雑収入	¥ 1,202,000	¥ 1,202,000
当期収入合計（A）		¥ 43,925,000
収入合計（B）		¥ 43,925,000
II 支出の部		
1 事業費		
サッカー事業	¥ 12,420,000	
フィットネス事業	¥ 8,054,840	
テニス事業	¥ 4,825,480	
ふらっと広場運営事業	¥ 1,743,600	
地域事業	¥ 1,015,000	
保険料	¥ 340,000	
20周年記念事業	¥ 500,000	¥ 28,898,920
2 管理費		
人件費	¥ 10,986,000	
通信・役務費	¥ 1,878,000	
印刷・事務消耗品	¥ 620,000	
施設・車両費	¥ 2,413,000	
その他	¥ 388,000	¥ 16,285,000
3 予備費		
当期支出合計（C）		¥ 45,183,920
当期収支差額（A）－（C）		¥ -1,258,920
次期繰越収支差額（B）－（C）		¥ -1,258,920

2010予算前年決算比較			
科 目	金 額		
	2010予算	2009決算	比較
I 収入の部			
1 会費、入会金収入			
正会員会費収入	¥ 350,000	¥ 300,000	¥ 50,000
〃 入会金収入	¥ 10,000	¥ 6,000	¥ 4,000
賛助会員（個人）	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ -
賛助会費（法人）	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -
2 事業収入			
サッカー事業	¥ 16,326,000	¥ 16,427,700	¥ -101,700
フィットネス事業	¥ 12,936,000	¥ 13,457,600	¥ -521,600
テニス事業	¥ 6,231,000	¥ 6,577,925	¥ -346,925
地域支援事業	¥ 360,000	¥ 130,800	¥ 229,200
3 補助金収入等	¥ 6,400,000	¥ 15,191,340	¥ -8,791,340
4 雑収入等	¥ 1,202,000	¥ 29,258	¥ 1,172,742
当期収入合計（A）	¥ 43,925,000	¥ 52,230,623	¥ -8,305,623
前期繰越残高	¥ 7,469,661	¥ 7,169,661	¥ 300,000
収入合計（B）	¥ 51,394,661	¥ 59,400,284	¥ -8,005,623
II 支出の部			
1 事業費			
サッカー事業	¥ 12,420,000	¥ 13,756,899	¥ -1,336,899
フィットネス事業	¥ 8,054,840	¥ 9,758,786	¥ -1,703,946
テニス事業	¥ 4,825,480	¥ 4,897,572	¥ -72,092
20周年事業費	¥ 500,000		
そのほか事業	¥ 3,098,600	¥ 8,635,397	¥ -5,536,797
2 管理費			
事務人件費	¥ 10,986,000	¥ 7,353,270	¥ 3,632,730
通信・役務費	¥ 1,878,000	¥ 1,409,557	¥ 468,443
印刷・事務消耗品	¥ 620,000	¥ 1,529,896	¥ -909,896
施設・車両費	¥ 2,413,000	¥ 2,049,986	¥ 363,014
その他	¥ 388,000	¥ 2,544,850	¥ -2,156,850
当期支出合計（C）	¥ 45,183,920	¥ 51,936,213	¥ -6,752,293
経常収支差額（A）－（C）	¥ -1,258,920	¥ 294,410	¥ -1,553,330
その他支出（固定資産分）	¥ -	¥ -	
次期繰越収支差額（B）－（C）	¥ 6,210,741	¥ 7,464,071	¥ -1,253,330



2010. 6. 6

NPO法人 浦和スポーツクラブ

(事務所) 〒330-0072 さいたま市浦和区領家4-5-6

電話 048-887-7140

FAX 048-679-1063

e-mail info@urawasc.org

HP-URL <http://www.urawasc.org>